

## 各分野の政策・施策を推進するための視点

### 1 市民自治

共に支え合う共生社会を実現するため、次の4つのステップを踏んで市民自治の意識を高めていきます。

#### 知らせる

市民と行政がお互いの情報を共有する。  
→市民が持つ情報(市民ニーズ)や行政情報を、誰もが自由に活用できるよう情報の交流を推進します。

#### やってみる

思いを行動に移す。  
→多くの市民が社会のための活動に興味・関心を持ち、自分なりの活動に結び付けていくことを促進します。

#### 深める

活動を持続し発展させる。  
→市民と行政が持つ力を発揮できる体制を整え、社会的課題の解決が図れるよう活動の進化を推進します。

#### つながる

皆の力を結集する。  
→市民と行政がそれぞれの役割を理解した上で、つながる力を活かして協働事業を促進します。

### 2 都市経営

豊かな地域社会を実現するため、次の4つの柱を中心に行政の基盤を強化していきます。

#### 質の高い行政運営

最適な行政組織を構築し、持続可能な財政運営を行います。

#### 効果的なアセットマネジメント(公共施設の管理・運営)

学校、道路など公共施設の効果的かつ効率的な管理・運営を行います。

#### ICT(情報や通信の技術)の高度利用

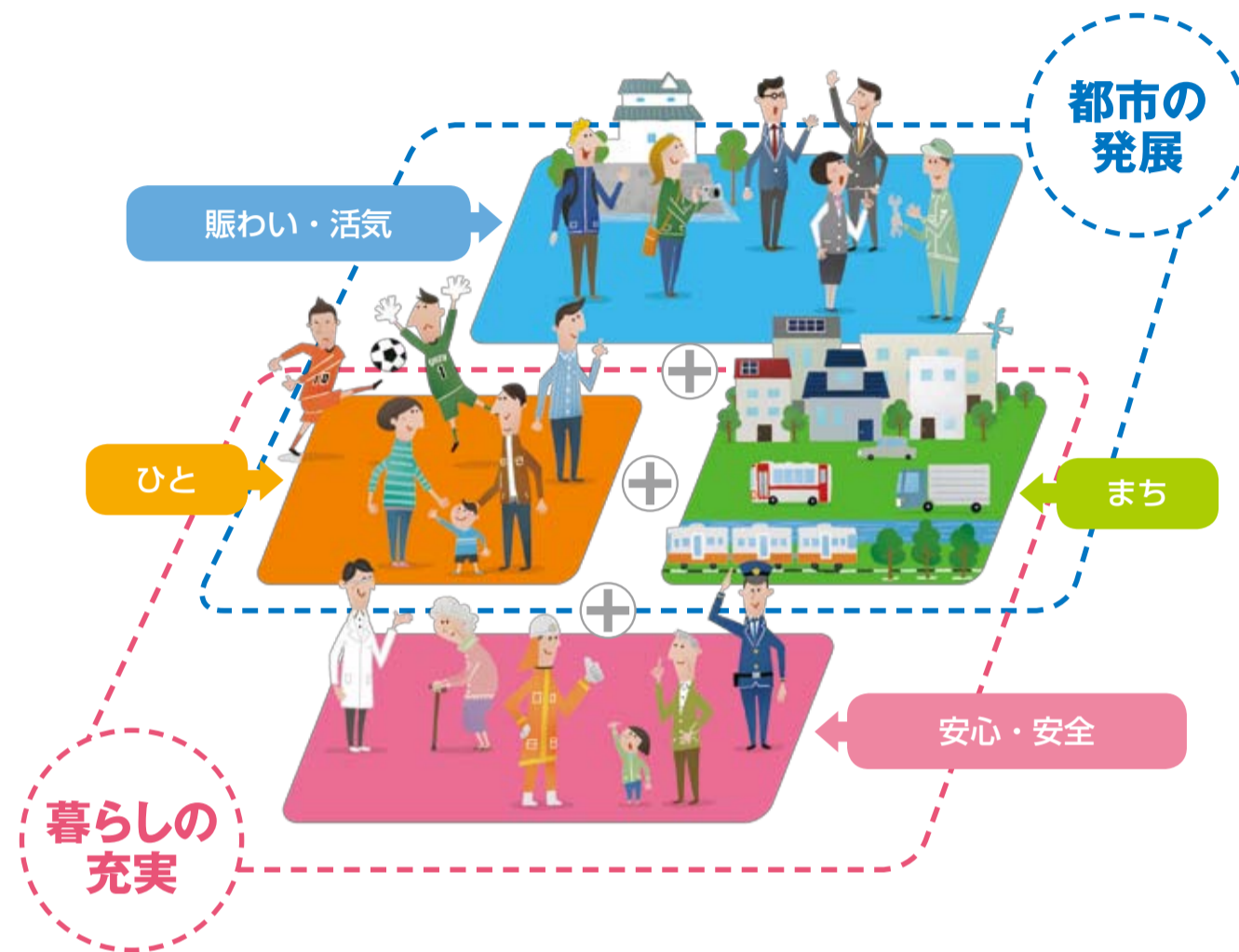
ICTを活用した行政サービスの拡充に取り組みます。

#### 多面的な広域行政

県中部の活力向上のため、国、県、周辺の市町と一層の連携を図ります。

## 基本計画における分野設定

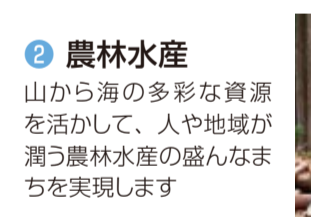
「ひと」が「まち」で活動することに、「賑わい・活気」の要素が加わることで、「都市が発展」していきます。また、「安心・安全」の要素が加わることで、「暮らしが充実」していきます。それぞれの要素ごとに分野を設定し、それぞれが担う役割を明らかにした上で、市政を運営していきます。



### 賑わい・活気



**1 観光・交流**  
国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちを実現します

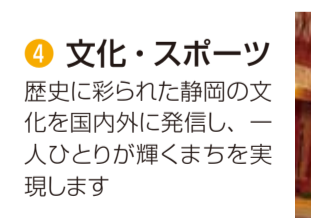


**2 農林水産**  
山から海の多彩な資源を活かして、人や地域が潤う農林水産の盛んなまちを実現します



**3 商工・物流**  
魅力的な人と企業が出会い、世界に誇れる価値を創造するまちを実現します

### ひと



**4 文化・スポーツ**  
歴史に彩られた静岡の文化を国内外に発信し、一人ひとりが輝くまちを実現します

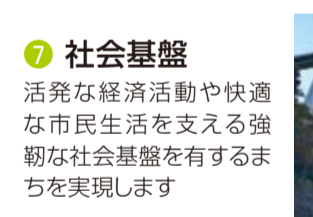


**5 子ども・教育**  
健やかで、たくましく、しなやかに生きる力をもった子ども・若者が育つまちを実現します

### まち



**6 都市・交通**  
快適で質の高いまちの拠点と交通環境を充実させ、新たな交流と活力を生み出すまちを実現します

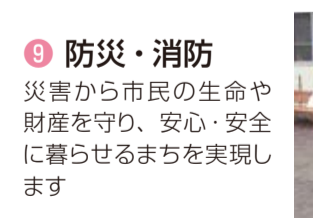


**7 社会基盤**  
活発な経済活動や快適な市民生活を支える強靱な社会基盤を有するまちを実現します

### 安心・安全



**8 健康・福祉**  
誰もが健やかに自分らしく、地域で共に生きることのできるまちを実現します



**9 防災・消防**  
災害から市民の生命や財産を守り、安心・安全に暮らせるまちを実現します



**10 生活・環境**  
人と自然が共に生き、誰もが住みたいと思えるまちを実現します



Shizuoka City  
お問合せ  
静岡市企画課  
TEL:054-221-1022  
FAX:054-221-1295

## 第3次静岡市総合計画

2015 ⇒ 2022 平成27年2月1日発行

保存版



## 第3次総合計画とは

### ごあいさつ

このたび、平成27年度から平成34年度までの8年間にわたる「第3次総合計画」を策定いたしました。

毎日、ばく大な情報が、地球規模で行き交う今日、都市間の競争は、国家の枠組みを超えて激しさを増しています。今後ますます、それぞれの都市が特性を活かし、世界の中で存在感を発揮し、輝きを放っていくことが求められます。

そこで、本市は、「第3次総合計画」を策定して、「ないものねだり」から「あるものさがし」を合言葉に、「歴史文化」と「健康長寿」に恵まれたまちという長所をさらにみがきあげていくこととしました。

本紙は、「第3次総合計画」の内容をわかりやすく市民の皆様にも説明するために編集したものです。ぜひお目通しいただき、市政への一層のご理解とご参画をお願い申し上げます。

平成27年2月1日  
静岡市長

田辺信宏

総合計画とは、市政運営の指針を示し、各行政分野における政策を明らかにしたものです。その内容は、①目指すまちづくりの目標や都市像を描く「基本構想」、②その基本構想に基づき実施する施策を総合的、体系的に表した「基本計画」、③基本計画に定められた施策を展開するために、個別の実施事業を定めた「実施計画」の3層で構成されています。

## 基本構想

(静岡市が目指すまちづくりの方向を示します)



東日本大震災を経て、多くの市民の意識は、モノの豊かさから、ココロの豊かさや、絆・つながりを重視するものへと変化し、日本社会は、「成長・拡大」の時代から、「成熟・持続可能」の時代へと大きな転換期を迎えています。「成熟時代の都市」とは、高度成長期のように「量の豊かさ」のみを求めず、「独自性や品質、安心・安全」など、多様な価値観や尺度を持つことによって、人々が、日々の暮らしにおいて「質の豊かさ」も実感できるまちだといえます。本市は、長い歴史や豊かな自然に育まれた、多くの個性あふれる地域資源に恵まれており、それらを活かすことで、日常生活において「量の豊かさ」とともに、「質の豊かさ」を実感できるまちとなる可能性があります。第3次総合計画では、70万人の人口規模であっても、風格があり、魅力にあふれ、世界の中で存在感を示す都市、「世界に輝く静岡」の実現を「まちづくりの目標」としました。そして、本市の強みである「歴史」と「健康」という長所をさらにみがきあげていくこと、すなわち、「歴史文化のまち」と「健康長寿のまち」を「目指す都市像」と掲げ、その実現を目指していきます。

住む人々が誇りを持ち、訪れる人々が憧れを抱く、世界水準のまちづくり。

「世界に輝く静岡」の実現

# 基本計画

(2015年度⇒2022年度)

## 8年間で取り組む重点プロジェクト



### 「創造する力」による都市の発展

(産業・経済の振興)

静岡市が持つ地域資源に新しい価値を与え、地域経済を活性化する。

#### 例えば

「創造する力」とは？

市民の皆さんの憩いの場である駿府公園の名称を「駿府城公園」としましたが、これからは…

- 駿府城公園を「桜の名所」とする
- 駿府城公園周辺に「歴史文化施設」を整備する
- 駿府城公園で「天守閣・天守台」の再建調査を行う

市民の皆さんの憩いの場である駿府城公園が、国内外から多くの人々が訪れる歴史文化の拠点となる。

### ●歴史



### 歴史文化のまちづくり

悠久の歴史を誇りとして活かした風格あるまちづくりの推進

- 駿府城公園「桜の名所」づくりや歴史文化施設の整備とともに、駿府城天守閣・天守台の再建調査・整備検討
- 二峠六宿(※1)の歴史的景観の保全や、「東海道歴史街道」の整備など、地域資源のみがきっかけによる賑わいの創出
- 世界に向けて情報発信を行い、多くの観光客を受け入れるための「三保松原ビジターセンター」の整備

### ●文化



人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりの推進

- 県との連携による東静岡地区への「文化・スポーツの殿堂」の整備とともに、草薙地区における文教エリアづくりの推進
- 清水港周辺地区に産学官による「港町・清水」に相應しい海洋文化の拠点づくりや新たな公共交通導入の検討
- オクシズ(※2)や、しずまえ(※3)が有する食文化や、伝統文化などの創造性豊かな静岡文化の進化

### ●中核



世界中から多くの人々が集まる求心力の高いまちづくりの推進

- 「静岡暮らし」の多彩な魅力の情報発信を積極的に進めることで、首都圏等からの移住・定住を促進
- 国際会議や全国大会の誘致など積極的なMICE(※4)の推進とともに、県中部圏の市町広域観光による交流人口拡大の推進
- 戦略産業(※5)への集中的な支援・育成とともに、企業ニーズに合わせた支援等による地域経済活性化と雇用拡大の推進

### 「創造する力」による都市の発展

静岡市の力

### 「つながる力」による暮らしの充実

### 「つながる力」による暮らしの充実

(安心・安全の確保)

市民・民間・行政が連携して地域課題を解決し、生活の質を高める。

#### 例えば

「つながる力」とは？

ひとりでお住まいの高齢者が、介護が必要となった場合、自宅での生活を望んでいても、介護施設などに入所しなければならぬ方が多かったです…

- 「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」が一体的に提供されるよう、それぞれの専門家、関係者が、多職種間の連携を行い、静岡型地域包括ケアシステム(※6)が構築される

介護が必要になっても、住み慣れた自宅や地域で、生涯を通じて安心して暮らせるようになる。

### 健康長寿のまちづくり

### ●健康

市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進

- 静岡型地域包括ケアシステムの構築とともに、健康寿命延伸の施策の拡充による、世界一の健康長寿の推進
- 子どもたちがすくすくと笑顔で成長できるよう、子ども本位の子ども・子育て支援を推進し、子育てしやすい都市の推進
- 健康・環境志向の高い乗り物である自転車を利用しやすいまちの実現とともに、歩いて楽しいまちの整備の推進



### ●防災



様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進

- 津波避難施設、防災スマートタウン(※7)整備や、消防救急広域化の推進による南海トラフ巨大地震に備えた災害対応力の強化
- 国、県と連携した総合的な浸水対策とともに、がけ崩れや地すべりなどから市民の生命・財産を守る土砂災害対策の推進
- 災害リスク軽減やエネルギー地産地消の観点からエネルギー関連産業の立地促進や、再生可能エネルギー普及の促進

### ●共生

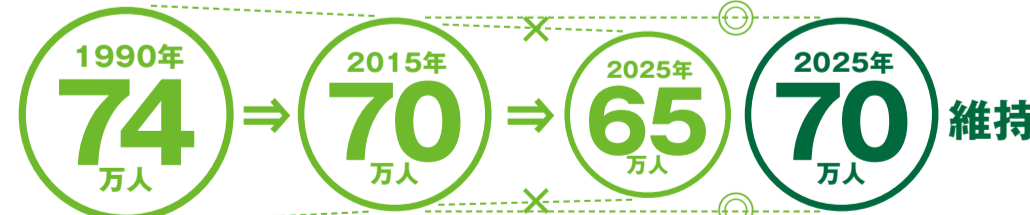


あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進

- すべての市民が、国籍や文化、性別、障がいの有無などの違いを乗り越え「和の精神」を持って共に暮らすまちの実現
- 南アルプスや安倍川、興津川などの清流、恵み豊かな駿河湾など多彩な自然環境の保全と活用による人と自然との共生
- 地域コミュニティが有する絆の一層の強化とともに、今後のまちづくりを担うシチズンシップ(※8)に富んだ人材の養成

### 計画策定の背景

本市の人口は、1990年の約74万人をピークに減少に転じており、このまま推移すれば、2025年には約65万人に減少することが予想されています。人口が減少すると、「地域経済」や「市民の暮らし」などに様々な影響を及ぼします。



人口の維持は、地域の持続的な発展のための極めて重要な課題であることから、本市は2025年の総人口を「70万人」に維持することを目標として掲げ、あらゆる施策を駆使した取組を行っています。

(※1)二峠六宿：静岡市内にある2つの峠(薩埵・宇津ノ谷)と東海道五十三次のうち、6つの宿(蒲原・由比・興津・江尻・府中・丸子)のこと。(※2)オクシズ：奥静岡エリア(奥大井・奥藤科・安倍奥・清水)の愛称。(※3)しずまえ：静岡市駿河湾沿岸地域の愛称。(※4)MICE：多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。(※5)戦略産業：世界的な社会経済情勢に適切に、商品やサービスなどの研究・開発・生産を行う。本市経済をけん引する力を秘めた産業のこと。(※6)静岡型地域包括ケアシステム：多職種間連携や、地域を支える人づくりを進めることにより、医療、介護、予防、住まい、生活支援を一体的に提供するしくみのこと。(※7)防災スマートタウン：自立的エネルギーシステムを備える住宅が整備され、地域内での電力融通が可能な機能を有するなど、被災時でも自宅を過ごすことができる地震に強いまち。(※8)シチズンシップ：市民が市民社会の一員として、社会の意思決定や運営の過程に積極的に関わるという意識のこと。